

尼崎西宮芦屋港港湾計画改訂について

1. 港湾計画改訂の背景と目的

尼崎西宮芦屋港の港湾計画は平成18年2月の改訂以降に軽易な変更を3回行ってきているが、平成30年度には港湾の中長期施策「PORT2030」の公表、大阪湾港湾の基本構想フォローアップが行われた。

尼崎西宮芦屋港においては、電子パネル工場が撤退する一方で自動車航送船が新規就航するほか、近接する大阪港夢洲では大阪万博・IRが予定されるなど、取り巻く環境も大きく変化している。

これらの社会経済動向を的確に捉え、尼崎西宮芦屋港の将来像及び当面取組む方針を検討するため、「尼崎西宮芦屋港港湾計画検討会」を設置し、港湾の利用状況や今後の見通し、港が抱える課題やニーズ、期待される役割等幅広い視点から検討を進め、長期構想と港湾計画素案をとりまとめる。

長期構想：概ね20～30年後を目標年次としたハード・ソフト両面からの将来像と方向性を示す

港湾計画素案：概ね10～15年後を目標年次とする港湾計画(法定計画)の素案であり、長期構想で示した内容のうち短期で対応すべき施策を示す

2. 港湾計画の変遷（前回改訂以降）

	地区名	変更内容	変更等の区分
H18.2	—	—	改訂
H24.2	東海岸町沖	土地利用計画の変更	軽変
H27.11	浜町	専用埠頭計画の変更	軽変
H30.10	甲子園浜	土地造成及び土地利用計画の変更	軽変

3. スケジュール

